

木のかし

第63号

2019年12月号

発行 (社福) 聖ヨハネ会
高齡福祉部門
広報委員会

〒184-0005
東京都小金井市桜町1-2-24
電話 042-381-1234
桜町聖ヨハネホーム

今後の福祉動向について

社会福祉法人 聖ヨハネ会

高齡福祉部門

統括施設長

小野 べり子

少子高齢・人口減少という国及び地域が抱えている大きな課題は、国全体の経済・社会の存続の危機に直結するものであるといえます。人口減少により多くの地域では社会経済の担い手の減少を招き、地域の活力や持続可能性を脅かす課題を抱えています。

人口構造の推移を見ると、2025年以降、「高齢者の急増」から「現役世代の急減」に局面が変化します。2025年以降の現役世代の人口の急減という新たな局面における課題への対応が必要であり、社会の活力維持向上をどのように図るかが社会保障改革においても重要課題となります。

厚生労働省は少子高齢・人口減少社会の本格的な到来に向けて、「地域共生社会の実現」を今後の福祉改革を貫く基本コンセプトとして掲げ、様々な取組を進めてきています。

改革の方向性の一つは公的支援の「タテワリ」から「まるごと」への転換です。

その一環として、「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」（平成29年法律第52号）において、社会福祉法（昭和26年法律第45号）が改正され、地域福祉の推進の理念が明記されるとともに、市町村が包括的な支援体制づくりに努める旨が規定されました。また、改正法の附則では、2020年を目途として、包括的な支援体制を全

国的に整備するための方策について検討を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずることとされています。

改革の方向性の二つめは「我が事・丸ごと」の地域づくりを育む仕組みへの転換です。

- ・住民主体による地域課題の解決力強化・体制づくり
- ・市町村による包括的な相談支援体制の整備
- ・地域づくりの総合化・包括化（地域支援事業の一体的実施と財源の確保）
- ・地域福祉計画の充実、各種計画の総合化・包括化

などの検討が全国で始まっています。

地域共生社会の実現は、制度・分野ごとの「縦割り」では解決できない課題（複合的課題、制度の狭間など）の存在や社会的孤立・社会的排除への対応、また、地域の「つながり」の弱まりや地域の持続可能性の危機などの諸問題に対応するため、『公的支援』と『地域づくり』の仕組み、双方の転換を目指すものです

1.5人の現役世代が1人の高齢世代を支えるかたちになると予想される2040年に向けて、様々な地域課題を解決することは多くの困難がありますが、その実現のために各関係機関が真摯に協働する必要がある、社会福祉法人聖ヨハネ会の高齡福祉部門としても一役を担う所存です。

特集その1「小金井きた地域包括支援センター」の取組み ～桜町センター～

地域に広がる 介護予防の輪



〈梶野町の会場：教会で毎週開催されている会場の様子です。〉

小金井きた地域包括支援センターは、小金井市より事業委託を受け、桜町病院近隣の65歳以上高齢者を対象に相談支援を行っています。「介護ベッドを借りたい」といった内容から、「地域で体操できる場所はないか」と様々な相談を承っています。以下に事業の一つを紹介いたします。

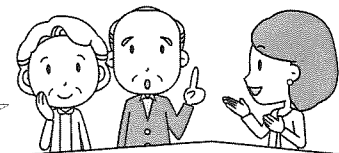
昨今は、高齢化の進展と健康寿命の増加により、「75歳なんて若い!」と表現されることを、よく聞くようになりました。加齢に負けない若々しい身体作りに『介護予防』の重要性が強まっています。

私たち、地域包括支援センターではご当地体操として『小金井さくら体操』を推進しています。座って出来る体操ですが、実施してみると大学の実習生でも良い運動になる体操です。市内に約30か所以上の会場があり、会場数も増えています。公民館や地域の集会所の場所をお借りし実施中です。聖ヨハネ会他部門からも病院別館や聖ヨハネ支援センターの会場協力を得ています。口コミで友人に紹介し合う姿も見受けられ、介護予防の輪が広がっています。さくら体操は介護予防の一つの手段です。高齢者一人ひとりに合う介護予防の取組み方法が見つけられるよう地域と協力して、元気な街作りに努めてまいります。

地域包括支援センターとは？

地域包括支援センターは高齢者の日常の困りごと、介護保険、認知症についてなどのよろず相談の窓口です。さくら体操・サロンのお問い合わせもこちらどうぞ

来所・電話・訪問で
相談を承ります。
地域や医療機関と
連携しています。



※小金井きた地域包括支援センターの担当地域：梶野町、関野町、緑町、本町2,3丁目、桜町1,3丁目

連絡先：〒184-0005 小金井市桜町1-9-5 Tel：042-388-2440

営業時間：月～土 9：00～17：30（日・祝・年末年始は休業）

特集その2 「みんなの安心・ささえ愛ネット」の取組み ～本町センター～

2017年より始まった「みんなの安心・ささえ愛ネットワーク」(以下「みんな愛ネット」)は『商いと福祉』で町づくりに貢献できないか?という思いから始まった活動です。

小金井けやき通り商店会会長が発起人となり、毎月1回本町センターで定例会を開催しています。現在は商業と福祉にとどまらず、農業、保育、医療にまで輪を広げています。

今年度の大きな取組みは、大久保園の援農(体験農業)です。センターに通われているご利用者様に作物の成長や収穫を愉しんでいただく機会をつくりたいとお話したところ、大久保園さんが承諾してくださり、2019年4月からみんな愛ネットのメンバーで畑をお借りすることができるようになりました。

ご利用者様と一緒に水やりや雑草取りを行っています。農園までは150m程で行ける距離ですが、行き帰り合わせると丁度歩行リハビリに良い印象です。



畑で育てた農作物は枝豆、茄子、トマト、ピーマン、スイカ、メロン、ほうれんそう、かぶなど多岐にわたります。スイカの収穫はJ:Comの取材(市長との「長つと散歩」)でも取り上げられました。

最近では近隣の保育園と連携し、「農園で会いましょう!」を合い言葉に、センターのご利用者様を農園にお連れして交流を楽しんでいます。大久保園での農作業を通して、乳幼児から高齢者までが交流できる場(プラットフォーム)ができ、少しずつお互いに顔の見える関係が出来つつあります。



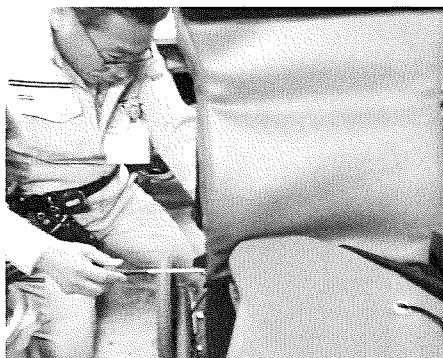
このような取組みは自分たちだけではなかなか実現できなかったことです。「みんな愛ネット」を通じ多業種の方たちとの出会いがあり、話し合う機会をつくったことで、お互いの気づけなかったことや課題について話し合えるようになったからこそ実現につながったと考えています。

私たちには、自分たちの暮らしている地域を住みやすくしたい、良くしたいという共通の思いや願いがあります。今後もこの輪を広げ、地域の方たちの居場所づくりにつなげていきたいと考えています。皆様の応援をよろしくお願い致します。

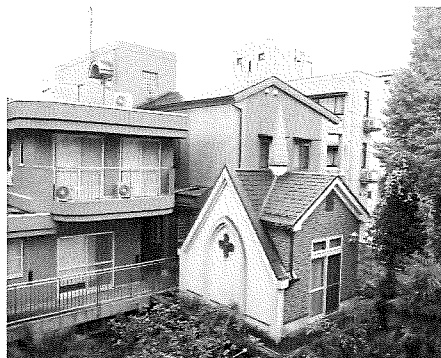
特集その3「安全・安心なホーム 環境整備」の取組み

～ヨハネホーム～

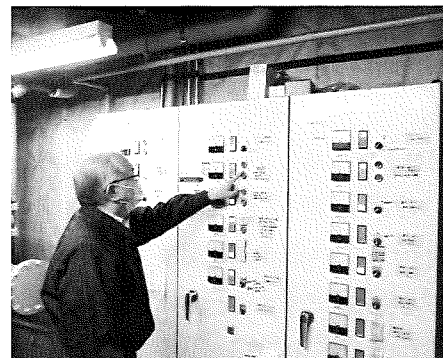
小野園長を中心に全職員とボランティアで「環境整備」に力を入れております。ホームを創設されたムニ神父様の「ここは天国への待合所」のお言葉を実現できるよう、そして、ご利用者様に気持ちよく暮らして頂くために日々頑張っております！



車椅子の修理



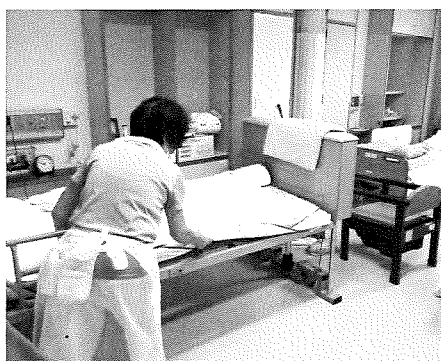
中庭の清掃・手入れ



ボイラー室の点検確認



洗濯ものたたみ
ボランティアさん



様々な職員とボランティアがホーム
の安全・安心を守っています！



ご利用者様のベッドシーツ交換



手すり付近の飾り付け



屋上庭園の手入れ



昼食の下膳
ボランティアさんの協力

在宅サービス部・施設サービス部の秋の活動・行事をご紹介します。

桜町センター

敬老会と言えば、**太鼓!!**



今年も恒例
①武蔵乃桜太鼓
②どんどこ座の皆様
が迫力ある太鼓を
ご披露して下さい
ました。
ご利用者様も実際に
太鼓を叩き、楽しま
れていました。



③世界地図を使ったレクリエーションです。同年代の方と交流できるのがデイサービスの醍醐味です。
④木曜日に陶芸の活動をしています。皆さん作品づくりに真剣に取り組まれています。

本町センター



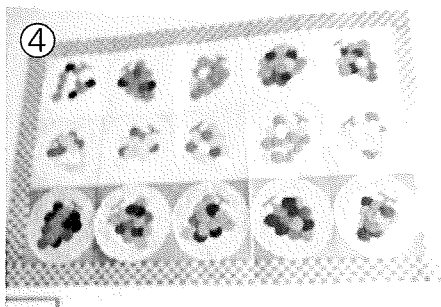
①鮮やかな毛糸を使ったクリスマスツリーを作成中。「どの飾りにしようかしら」おしゃべりしながら作るのは楽しいですね。



②こちらは来年の干支の型抜きアートを作成しているところです。



③和紙をちぎって色やバランスを考えながら貼るちぎり絵の作品です。1年で何作品も仕上げられた方もいらっしゃいます。



④折り紙で作ったぶどうの壁飾りです。みんなで切ったり、折ったり、貼ったりして作成した共同作品です。

本町センターでは
11/18(月)~23(土)に
文化週間を開催しました!
日頃の 趣味活動で作成
した作品を、フロアや食堂、
廊下に展示しました。



⑤陶芸や手芸の作品です。本町センターには陶芸窯があり、素敵な皿や茶碗が焼きあがっています。



秋といえば、芸術！

芸術の秋に相応しく、9月の敬老会では素晴らしい歌声とオカリナの音色が！10月の金曜ティータイムでは、バイオリンとピアノの優雅なメロディが！そして、11月の音楽サークル発表会では、利用者様の元気な声が響き渡りました！天高くまで幸せになる秋のヨハネホームでした！！



ボランティア

詩吟指導ボランティア 古明地 進さん

- ①本町センターでのボランティア活動歴は？
→11年です。
- ②本町センターでボランティアを始めたきっかけは？
→ボランティアで詩吟を教えようとしていた時に本町センターよりお声がかかりましたのがきっかけです。
- ③ご自身にとってボランティア活動とは？
→詩吟を広めたいと思っていた時にお声がかかりましたので喜んで参加して、11年になります。



今後の予定

桜町センター

12月 クリスマス会
1月 新年会
2月 節分行事



本町センター

12月19日～12月25日
クリスマス週間
1月4日 新年会
2月3日 節分行事



桜町聖ヨハネホーム

12月20日
教会祭儀(クリスマス)
12月24日・25日
クリスマスの音楽と行事食
1月1日 元旦
獅子舞

【編集後記】

2019年、ご利用者様の沢山の笑顔と共に過ごすことが出来ました。みな様にとっては、どんな一年だったでしょうか。日本各地で、自然の猛威を感じた年でもありました。天災被害のために、今も生活の中で不自由を感じておられる方々の平穏をこころからお祈りします。くる年が、皆様にとって、日本そして地球星にとって、あたたかな日々でありますように。何かと慌ただしい師走、お元気にお過ごしください。(F)